

城山小学校 第 872 回 平和祈念式 令和 6 年 4 月 9 日

今日は、第 872 回の平和祈念式です。そして、今年度のはじめの平和祈念式でもあります。6 年生のみなさんが花当番でした。ありがとうございます。

さて、城山小学校では「平和は城山から」という言葉があります。平和な世の中を作っていくために大切なことをしっかりと勉強して、まずは城山小学校のみなさんができることに取り組み、取り組んで感じたことや良かったことを発信してほしいというみなさんへの願いが込められた言葉です。

平和な世の中を作っていくために大切な勉強とは、大きくは 2 つがあると校長先生は考えています。①原子爆弾の被害にあった城山小学校のことや、これまで受け継いできた先輩方や地域の方々の願いを知ること、②平和な世の中をつくるために、城山小学校の子供として、どんな学校生活をすればよいのかを考え、行動すること、です。原子爆弾の被害については、それぞれの学年でたくさん勉強してきています。今から 79 年前の 8 月 9 日、午前 11 時 2 分に、一瞬で町を吹き飛ばして破壊し、何万人という人の命を奪ってしまう原子爆弾が松山町の上空で爆発しました。城山小学校でも 1、400 名以上の方が亡くなられ、その頃、最新の 3 階建ての校舎もぺしゃんこになって壊れてしまいました。想像もつかない、とても悲惨で、悲しい出来事です。二度と悲惨な戦争を起こしてはならない。多くの人の命を一瞬で奪ってしまう原子爆弾のような核兵器を二度と使ってはならない。そのために、原爆により大きな被害を受けたことや平和の大切さを先輩方から引き継ぎ、城山小学校から広げていくことを、まずはしっかりと勉強してください。

次に、②平和な世の中をつくるために、城山小学校の子供として、どんな学校生活をすればよいのかを考え、行動することについては、3 月の平和祈念式でお話をしました。みなさんが、友達と仲良く生活する姿から、世界中の子供たちが仲良くすることにつながれば、平和な世界をつくることにつながっていく。友達と仲良くする、世界中の子供たちが仲良くするためには、互いの考えを聞いて、相談をしてどうするのかを決めること、そして、決まったことは守って行動すること、が大切。言葉が違って、身振り手振りや、絵をかいたり、タブレットを使ったりして、考えを伝えようとするのと、それをわかろうとすることで、仲良くすることにつながっていく。そのことをいつも忘れずに、「Peace 飛び交う、楽しい学校」から、世界の人々とつながり、平和な世の中に向かうことができるような、みなさんの毎日の取組を毎日続けていくことが大切です。

今年 1 年間の平和祈念式では、皆さんが学年で取り組んだ活動や勉強したこと、これから取り組んでみたいことなどを、全校のみんなに紹介して、自分たちの願いを発信していきましょう。